

2020年12月23日

各 位

株式会社 みなと銀行

### 「兵庫県内中小企業の景況調査(2020年10月～12月期)」の実施結果について

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行(頭取 服部 博明)は、兵庫県内のお取引先中小企業のご協力を得て、県内中小企業の景況調査(2020年10月～12月期)を実施しましたので、その調査結果をお知らせします。

本調査は、みなと銀行の県下全域にわたる支店ネットワークを活用し、地元中小企業の皆さまが実際に肌で感じておられる景況感などを幅広く把握し、地域金融機関としてお役に立つ情報を発信していくことを目指して、2010年11月より実施しているものです。

今後についても、四半期毎に実施し、地域の皆さまのご意見、ご判断をより反映した調査となるよう努めてまいります。

#### ■景況調査の概要

実施時期	2020年11月
調査対象	兵庫県内に本社を置くみなと銀行のお取引先中小企業 対象先:1,800先、うち有効回答:1,344先 (有効回答率 74.6%)
質問事項	景況感、売上、経常利益などに関する判断D I 新型コロナウイルスの影響について等

調査結果の概要と詳細は、別紙の通りです。ご参照下さい。

以 上

# 兵庫県内中小企業の景況調査 (2020年10月～12月期)

調査方法等  
調査時点 2020年11月  
調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業  
調査方法 聞き取りによるアンケート調査  
依頼先数 1800社  
有効回答数 1344社(有効回答率74・6%)

## 【調査結果】

・景況判断は13・8ポイント改善の▲36・0となり、2四半期連続で改善した。製造業は小規模企業が悪化しており、非製造業に比べて改善幅が小さい。政府は経済対策を行っているものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大もあり、「悪い」と判断する企業が41・6%と依然として多い。

・新型コロナウイルスについては「今後影響が出る可能性がある」を含めて「影響あり」が85・3%と前回(90・6)より5・3ポイント減少したが、約9割の企業に影響が及んでいる。

・9月の売上水準(前年同月比)が「1割以上減少した」企業は40・0%となり、前回6月の売上水準(同)と比べて8・7ポイント改善した。  
・今後の見通しは2・1ポイント改善の▲33・9となった。感染者の発生を抑え、経済活動を進めるのは難しいことから、景気回復に時間を要するとみている。

## 1 景況判断

改善したが、「悪い」と判断する企業が4割超

『全産業』は13・8ポイント改善の▲36・0と2四半期連続で改善。ただし41・6%は「悪い」と判断している。

## 調査 集計・分析 みなと銀行 ひょうご経済研究所

【業種】	社数	構成比(%)
製造業	382	28.4
建設業	222	16.5
卸売業	200	14.9
小売業	67	5.0
不動産業	155	11.5
運輸業	68	5.1
宿泊・飲食業	23	1.7
医療・福祉	51	3.8
サービス業	125	9.3
その他	51	3.8
非製造業	962	71.6
無回答	0	0.0
合計	1,344	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)
小規模企業	131	9.7
5名以下	142	10.6
6～10名	273	20.3
小計	249	18.5
中小企業	394	29.3
11～20名	206	15.3
21～50名	849	63.2
51～100名	115	8.6
小計	105	7.8
中堅企業	105	7.8
101～200名	2	0.1
201名以上	220	16.4
小計	2	0.1
無回答	2	0.1
合計	1,344	100.0

※ DI (Diffusion Index)  
景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合 - 「悪い」と回答した企業の割合

『製造業』は小規模企業が悪化したが、中小堅企業が改善、全体では9・1ポイント改善の▲46・3と6四半期連続のマイナス判断となった。

『非製造業』は企業規模にかかわらず改善し、全体では15・6ポイント改善の▲31・9となった。

地域別では、全5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)とも改善した。

先行きは『製造業』は2・7ポイント、『非製造業』は1・9ポイントの改善を予想している。

## 2 売上高判断

製造業、非製造業ともに改善

『全産業』は11・0ポイント改善の▲33・8となった。

『製造業』、『非製造業』ともに販売数量、販売単価が上昇し、それぞれ▲44・0、▲29・8となった。

業種別はすべての業種が改善となった。特に宿泊・飲食業、医療・福祉の改善幅が大きかった。

地域別は全5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)とも改善となった。

先行きは『製造業』、『非製造業』ともに改善を予想している。

## 3 経常利益判断

製造業、非製造業ともに改善

『全産業』では13・5ポイントの改善の▲27・7となった。『製造業』、『非製造業』ともに改善した。

業種別ではすべての業種で改善した。特に宿泊・飲食業、小売業、医療・福祉が大きく改善した。

地域別は、全5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)で改善したが、マイナス判断が続いた。

先行きは、『製造業』、『非製造業』ともに改善の予想で、全体では3・0ポイントの改善を見込む。

項目	1. 景況判断			2. 売上高判断			3. 経常利益判断						
	「良い」-「悪い」			「増加」-「減少」			「増加」-「減少」		「上昇」-「低下」		「増加」-「減少」		
	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]
全産業	▲49.8	▲36.0	▲33.9	▲44.8	▲33.8	▲28.4	▲44.0	▲32.6	▲15.5	▲9.7	▲41.2	▲27.7	▲24.7
小規模企業	▲43.4	▲33.0	▲31.5	▲34.4	▲26.7	▲21.6	▲32.1	▲26.5	▲11.9	▲8.8	▲32.6	▲19.8	▲16.6
中小企業	▲51.7	▲37.3	▲34.5	▲48.8	▲37.7	▲31.9	▲47.9	▲36.2	▲16.5	▲11.3	▲44.0	▲31.7	▲28.3
中堅企業	▲51.5	▲34.5	▲34.2	▲43.6	▲27.3	▲22.8	▲45.9	▲26.2	▲16.3	▲4.7	▲42.6	▲21.8	▲20.1
製造業	▲55.4	▲46.3	▲43.6	▲51.3	▲44.0	▲36.7	▲50.4	▲43.1	▲13.5	▲10.3	▲46.8	▲36.9	▲32.0
小規模企業	▲53.8	▲60.9	▲56.5	▲38.5	▲52.2	▲47.8	▲38.5	▲47.8	▲15.4	4.3	▲38.5	▲30.4	▲21.7
中小企業	▲56.8	▲46.6	▲43.3	▲54.2	▲46.6	▲38.7	▲53.1	▲45.7	▲12.5	▲13.6	▲48.7	▲41.0	▲35.5
中堅企業	▲50.7	▲40.8	▲40.8	▲45.3	▲31.6	▲26.3	▲44.6	▲32.0	▲16.2	▲2.7	▲42.7	▲23.7	▲22.4
非製造業	▲47.5	▲31.9	▲30.0	▲42.1	▲29.8	▲25.0	▲41.4	▲28.3	▲16.4	▲9.4	▲39.0	▲24.0	▲21.7
小規模企業	▲42.3	▲30.4	▲29.2	▲34.0	▲24.4	▲19.2	▲31.4	▲24.5	▲11.5	▲10.1	▲32.0	▲18.8	▲16.1
中小企業	▲49.1	▲32.7	▲30.1	▲46.1	▲33.2	▲28.5	▲45.2	▲31.3	▲18.6	▲10.1	▲41.6	▲27.0	▲24.8
中堅企業	▲51.9	▲31.3	▲30.8	▲42.6	▲25.0	▲21.0	▲46.7	▲23.0	▲16.4	▲5.8	▲42.6	▲20.8	▲18.9

#### 4 仕入価格判断

製造業、非製造業ともに上昇

『全産業』の判断は▲4・3と3・0ポイント上昇した。  
『製造業』は、企業規模にかかわらず上昇し、全体では2・5ポイント上昇した。『非製造業』も、企業規模にかかわらず上昇し、全体では3・2ポイント上昇した。  
業種別では医療・福祉が横ばい、その他が低下し、それ以外の業種は上昇した。建設業がプラス判断に転じた。

#### 5 生産判断（製造業のみ）

8 四半期ぶりの上昇

製造業全体の判断は10・2ポイント上昇の▲32・9と8四半期ぶりに上昇したが、40・8%の企業は減少と回答。  
小規模企業が2・6ポイント低下、一方で、中小・中堅企業がそれぞれ11・9ポイント、8・3ポイント上昇した。

#### 6 在庫判断

過剰感がやや弱まる

「適正」の判断が大半（92・5%）を占めるが、『全産業』では▲3・3から▲2・9となり、過剰感がやや弱まった。業種別では不動産業を除く業種が過剰という状況になった。

#### 7 資金繰り判断

3 四半期ぶりのプラス判断

全産業の判断は4・9ポイント改善し、0・8と3四半期ぶりにプラス判断に転じた。  
『製造業』では、小規模企業は悪化した。中堅企業の改善幅が大きく、全体では3・8ポイント改善した。  
『非製造業』は、特に中小・中堅企業の改善幅が大きく、全体では5・3ポイント改善した。

項目	「上昇」-「低下」			「増加」-「減少」			「不足」-「過剰」			「楽である」-「苦しい」			「不足」-「過剰」			「増加」-「減少」		
	4. 仕入価格判断			5. 生産（製造業のみ）			6. 在庫判断			7. 資金繰り判断			8. 雇用判断			9. 設備投資判断		
	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]
	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月
全産業	▲7.3	▲4.3	▲3.2	—	—	—	▲3.3	▲2.9	▲2.3	▲4.1	0.8	▲0.2	4.2	7.3	7.8	▲5.8	▲5.0	▲4.2
小規模企業	▲5.9	▲1.5	0.4	—	—	—	▲1.5	▲1.2	▲0.4	▲2.5	▲2.6	▲2.2	5.0	4.0	4.0	▲6.1	▲5.3	▲5.7
中小企業	▲7.5	▲5.3	▲4.4	—	—	—	▲4.1	▲4.1	▲3.2	▲5.0	0.8	▲0.6	4.2	8.7	9.4	▲5.7	▲5.0	▲4.9
中堅企業	▲8.6	▲3.7	▲2.8	—	—	—	▲2.1	▲0.5	▲1.0	▲2.5	5.0	3.7	3.4	5.9	6.4	▲6.1	▲4.6	0.5
製造業	▲7.0	▲4.5	▲2.9	▲43.1	▲32.9	▲26.6	▲6.2	▲3.4	▲3.7	▲2.2	1.6	0.3	3.2	3.9	4.7	▲6.6	▲7.9	▲7.1
小規模企業	0.0	8.7	8.7	▲42.9	▲45.5	▲40.9	▲11.5	▲4.3	▲4.3	▲3.8	▲4.3	0.0	11.5	8.7	8.7	0.0	▲13.0	▲8.7
中小企業	▲6.6	▲5.7	▲3.5	▲45.0	▲33.1	▲25.4	▲5.9	▲4.9	▲5.0	▲3.3	▲0.4	▲2.1	2.2	3.5	4.3	▲7.1	▲7.8	▲8.5
中堅企業	▲10.7	▲3.9	▲3.9	▲36.5	▲28.2	▲26.8	▲5.3	2.6	1.3	2.7	10.5	9.2	4.0	3.9	5.3	▲6.8	▲6.6	▲1.3
非製造業	▲7.5	▲4.3	▲3.3	—	—	—	▲2.0	▲2.7	▲1.7	▲4.8	0.5	▲0.4	4.6	8.6	9.1	▲5.5	▲3.8	▲3.0
小規模企業	▲6.5	▲2.5	▲0.4	—	—	—	▲0.4	▲0.9	0.0	▲2.4	▲2.4	▲2.4	4.3	3.6	3.6	▲6.8	▲4.6	▲5.4
中小企業	▲8.0	▲5.1	▲4.8	—	—	—	▲3.2	▲3.6	▲2.3	▲5.9	1.4	0.2	5.2	11.3	12.0	▲4.9	▲3.6	▲3.1
中堅企業	▲7.3	▲3.5	▲2.1	—	—	—	0.0	▲2.2	▲2.3	▲5.4	2.1	0.7	3.1	6.9	7.0	▲5.7	▲3.5	1.4

#### 8 雇用判断

不足感はやや強まる

『全産業』では3・1ポイント上昇し、7・3と不足感はやや強まった。業種別では宿泊・飲食業、その他で過剰の状態が続いている。

#### 9 設備投資判断

3 四半期連続のマイナス判断

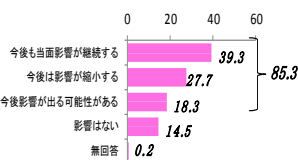
『全産業』では0・8ポイント上昇の▲5・0と3四半期連続のマイナス判断となった。企業規模にかかわらず上昇した。

#### ◆新型コロナウイルスの影響

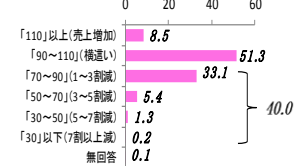
経営への影響があるとする企業は、「今後影響が出る可能性がある」を含めて「影響あり」が85・3%と前回までと同様に約9割に達している。  
9月の売上水準（前年同月を「100」とする）は「売上増加（110以上）」が8・5%、「横這い（90~110）」が51・3%、「1割以上減（90未満）」が40・0%となった。

業績が新型コロナウイルス発生前の水準に回復するまでの期間は、左記グラフの「概ね1年以内までの合計」が68・9%、「見込みが立たない」が24・5%となり、前回同様に企業間で乖離が大きい。

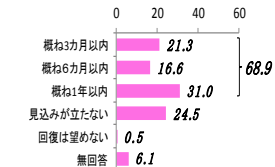
#### ◆新型コロナウイルスの影響



#### ◆今年9月の売上水準(対前年同月比)



#### ◆発生前の水準に業績が回復するまでの期間



# 兵庫県内中小企業の景況調査

## (2020年10月～12月期)

### 〔目 次〕

I. 調査方法等	1
II. 調査結果の概要	2
III. 個別項目の動向	
1. 景況判断	3
2. 売上高判断	5
3. 経常利益判断	6
4. 仕入価格判断	7
5. 生産判断（製造業のみ）	8
6. 在庫判断	9
7. 資金繰り判断	10
8. 雇用判断	11
9. 設備投資判断	12
◆ 新型コロナウイルスの影響について	13
◆ トピックス —2021年を表す漢字—	19
IV. 【参考】 景況判断の内訳明細	20

本調査に関する問い合わせ先  
みなと銀行 経営企画部広報室(担当:長崎)  
TEL 大代表(078)331-8141  
直通 (078)333-3247

## I. 調査方法等

- ◆調査時点 2020年11月
- ◆調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
- ◆調査方法 聞き取りによるアンケート調査
- ◆依頼先数 1,800社
- ◆有効回答数 1,344社(有効回答率74.6%)
- ◆集計・分析 ひょうご経済研究所

### 〔回答企業の内訳〕

【所在地】	社数	構成比(%)
神戸地域	383	28.5
阪神地域	279	20.8
播磨地域	529	39.4
但馬・丹波地域	51	3.8
淡路地域	102	7.6
無回答	0	0.0
<b>合計</b>	<b>1,344</b>	<b>100.0</b>

神戸地域・・・神戸市  
 阪神地域・・・尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)  
 播磨地域・・・姫路市、明石市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、宍粟市、加東市、たつの市、多可郡(多可町)、加古郡(稲美町、播磨町)、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)、神崎郡(市川町、福崎町、神河町)、佐用郡(佐用町)  
 但馬・丹波地域・・・丹波篠山市、丹波市、豊岡市、養父市、朝来市、美方郡(香美町、新温泉町)  
 淡路地域・・・洲本市、南あわじ市、淡路市

【業種】	社数	構成比(%)	
<b>製造業</b>	<b>382</b>	<b>28.4</b>	
非製造業	建設業	222	16.5
	卸売業	200	14.9
	小売業	67	5.0
	不動産業	155	11.5
	運輸業	68	5.1
	宿泊・飲食業	23	1.7
	医療・福祉	51	3.8
	サービス業	125	9.3
その他	51	3.8	
<b>非製造業</b>	<b>962</b>	<b>71.6</b>	
無回答	0	0.0	
<b>合計</b>	<b>1,344</b>	<b>100.0</b>	

【資本金】	社数	構成比(%)
500万円以下	114	8.5
500万円超～1千万円以下	388	28.9
1千万円超～2千万円以下	256	19.0
2千万円超～3千万円以下	154	11.5
3千万円超～5千万円以下	221	16.4
5千万円超～1億円以下	163	12.1
1億円超	34	2.5
無回答	14	1.0
<b>合計</b>	<b>1,344</b>	<b>100.0</b>

【従業員数】	社数	構成比(%)	
小規模企業	5名以下	131	9.7
	6～10名	142	10.6
	<b>小計</b>	<b>273</b>	<b>20.3</b>
中小企業	11～20名	249	18.5
	21～50名	394	29.3
	51～100名	206	15.3
	<b>小計</b>	<b>849</b>	<b>63.2</b>
中堅企業	101～200名	115	8.6
	201名以上	105	7.8
<b>小計</b>	<b>220</b>	<b>16.4</b>	
無回答	2	0.1	
<b>合計</b>	<b>1,344</b>	<b>100.0</b>	

### 〔各種判断DIについて〕

※ DI (Diffusion Index)

【例】景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合(%) - 「悪い」と回答した企業の割合(%)

## II. 調査結果の概要

- ・景況判断は13.8ポイント改善の▲36.0となり、2四半期連続で改善した。製造業は小規模企業が悪化しており、非製造業に比べて改善幅が小さい。政府は経済対策を行っているものの、新型コロナウイルス感染の再拡大もあり、「悪い」と判断する企業は41.6%と依然として多い。
- ・新型コロナウイルスについては「今後影響が出る可能性がある」を含めて「影響あり」が85.3%と前回(90.6)より5.3ポイント減少したが、約9割の企業に影響が及んでいる。
- ・9月の売上水準(前年同月を「100」とする)は、「売上増加(110以上)」が8.5%、「横這い(90~110)」が51.3%となった。一方、「1割以上減少(90未満)」の企業が40.0%となり、前回6月の売上水準(同)と比べて8.7ポイント改善した。
- ・業績が新型コロナウイルス発生前の水準に回復するまでの期間は、「概ね3カ月以内、6カ月以内、1年以内の合計(以下「概ね1年以内(合計)」)」が68.9%、「見込みが立たない」が24.5%となり、前回同様に企業間で乖離が大きい。
- ・今後の見通しは2.1ポイント改善の▲33.9となった。感染者の発生を抑え、経済活動を進めるのは難しいことから、景気回復に時間を要するとみている。

景況判断 DIは13.8ポイント改善の▲36.0  
先行きは2.1ポイント改善の▲33.9

項目	最近3ヵ月 〔2020年10月～12月〕	今後3ヵ月 〔2021年1月～3月〕
景況判断 「良い」-「悪い」	・全産業では▲36.0と2四半期連続で改善。ただし、41.6%は「悪い」と判断。 ・製造業、非製造業とも改善。	・全産業では2.1ポイントの改善の▲33.9を予想。 ・製造業、非製造業ともに改善を見込む。
売上高判断 (前年同期比) 「増加」-「減少」	・全産業では11.0ポイント改善の▲33.8。 ・製造業、非製造業ともに、販売数量、販売単価が上昇。	・全産業では5.4ポイントの改善の▲28.4。 ・製造業、非製造業ともに、販売数量が上昇し、改善を見込む。
経常利益判断 (前年同期比) 「増加」-「減少」	・全産業では13.5ポイント改善の▲27.7。 ・製造業、非製造業ともに企業規模にかかわらず改善した。	・全産業では3.0ポイントの改善の▲24.7を予想。 ・製造業、非製造業ともに改善を見込む。
仕入価格判断 「上昇」-「低下」	・全産業では3.0ポイント上昇の▲4.3。 ・製造業、非製造業ともに上昇。	・全産業では1.1ポイントの上昇を見込む。 ・製造業、非製造業ともに上昇を見込む。
生産判断 【製造業のみ】 「増加」-「減少」	・製造業全体では10.2ポイント上昇の▲32.9と8四半期ぶりに上昇。 ・40.8%の企業は「減少」と回答。	・製造業全体では6.3ポイントの上昇予想。 ・企業規模にかかわらず、上昇を見込む。
在庫判断 「不足」-「過剰」	・「適正」とする企業が9割超。 ・全産業では過剰感はやや弱まり▲2.9。 ・製造業、非製造業とも過剰と判断。	・今後とも「適正」とする企業が多い。 ・全産業では▲2.3と過剰感がやや弱まると予想。
資金繰り判断 「楽である」 -「苦しい」	・全産業では4.9ポイント改善の0.8と3四半期ぶりのプラス判断。 ・「楽」もしくは「普通」が大半を占める。	・全産業では1.0ポイントの悪化の▲0.2を予想。 ・製造業、非製造業ともに悪化すると予想。
雇用判断 「不足」-「過剰」	・全産業では7.3と不足感はやや強まった。 ・製造業、非製造業とも不足感はやや強まる。	・全産業では不足感が0.5ポイント強まると予想。
設備投資判断 「増加」-「減少」	・全産業では0.8ポイント上昇の▲5.0。 ・製造業で低下、非製造業で上昇。	・全産業では0.8ポイントの上昇予想。 ・製造業、非製造業ともに上昇予想。
新型コロナウイルスの影響	・「今後影響が出る可能性がある」を含めて「影響あり」が85.3%と前回(90.6%)より5.3ポイント減少したものの、約9割の企業に影響が及んでいる。	
今年9月の売上水準	・前年同月を「100」とすると、「売上増加(110以上)」が8.5%、「横這い(90~110)」が51.3%、「1割以上減少(90未満)」が40.0%となった。	
業績の回復する時期	・業績が新型コロナウイルス発生前の水準に回復するまでの期間は、「概ね1年以内(合計)」が68.9%、「見込みが立たない」が24.5%となり、前回同様に企業間で乖離がみられる。	

### Ⅲ. 個別項目の動向

#### 1. 景況判断

##### (1) 最近3ヵ月 [2020年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の景況判断DI(「良い」-「悪い」)は、13.8ポイント改善の▲36.0と2四半期連続で改善した。ただし、41.6%は「悪い」と判断している。

業種別・・・『製造業』は、小規模企業が悪化したが、中小、中堅企業は改善、全体として9.1ポイント改善の▲46.3と、6四半期連続のマイナス判断となった。

『非製造業』は、企業規模にかかわらず改善し、全体では15.6ポイント改善の▲31.9となった。

規模別・・・『小規模企業』(従業員数10名以下)、『中小企業』(同11~100名)、『中堅企業』(同101名以上)のいずれも改善した。

##### 【参考】

地域別・・・全5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)とも改善した。

業種別・・・『製造業』、『建設業』以外の8業種で10ポイントを上回る改善となった。特に『宿泊・飲食業』は49.8ポイントと改善幅が大きい。

##### (2) 今後3ヵ月 [2021年1月~3月]

全産業・・・先行きは、2.1ポイント改善の▲33.9を予想している。

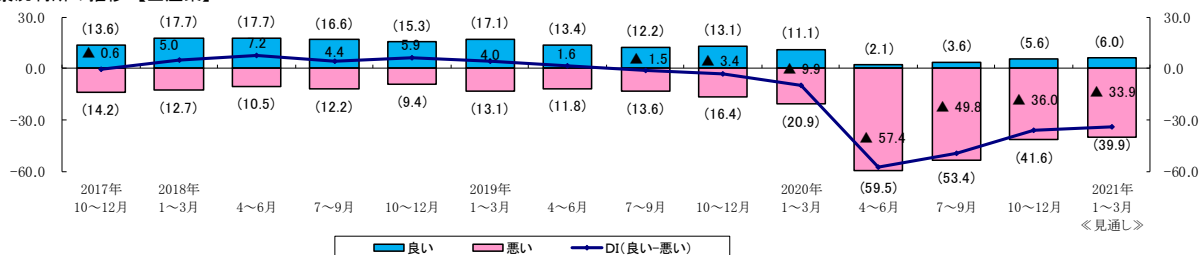
業種別・・・『製造業』は2.7ポイント、『非製造業』は1.9ポイントの改善を見込む。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』ともに改善を見込んでいる。小規模企業より中小・中堅企業の方が景況判断水準は低い。

項目	「良い」-「悪い」				
	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》
全産業	▲9.9	▲57.4	▲49.8	▲36.0	▲33.9
小規模企業	▲10.2	▲52.1	▲43.4	▲33.0	▲31.5
中小企業	▲8.7	▲59.0	▲51.7	▲37.3	▲34.5
中堅企業	▲12.6	▲58.2	▲51.5	▲34.5	▲34.2
製造業	▲17.7	▲59.6	▲55.4	▲46.3	▲43.6
小規模企業	▲43.5	▲60.9	▲53.8	▲60.9	▲56.5
中小企業	▲14.8	▲61.1	▲56.8	▲46.6	▲43.3
中堅企業	▲20.5	▲52.9	▲50.7	▲40.8	▲40.8
非製造業	▲7.0	▲56.5	▲47.5	▲31.9	▲30.0
小規模企業	▲7.7	▲51.3	▲42.3	▲30.4	▲29.2
中小企業	▲5.8	▲58.1	▲49.1	▲32.7	▲30.1
中堅企業	▲8.8	▲60.9	▲51.9	▲31.3	▲30.8

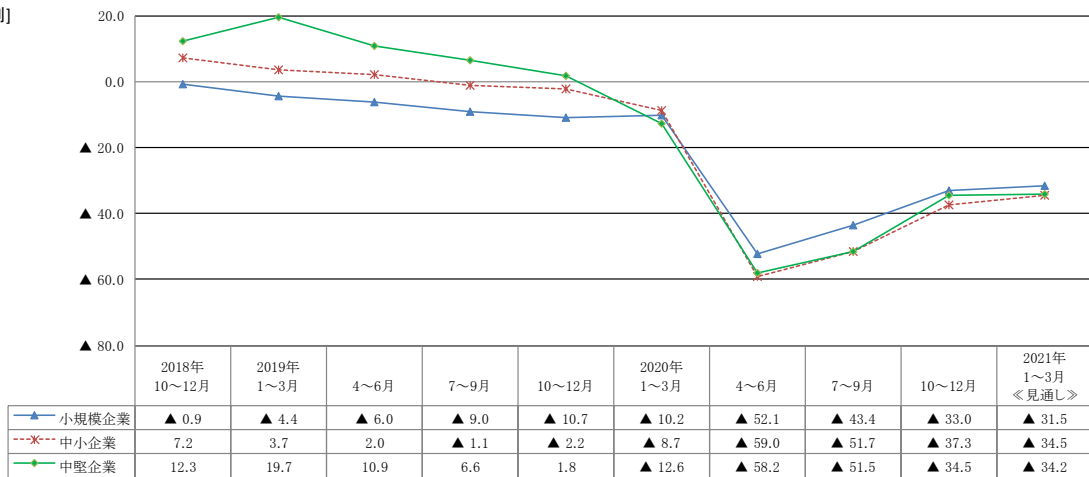
項目	「良い」-「悪い」					
	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲12.1	▲63.0	▲57.4	▲48.8	▲44.5
	阪神地域	▲6.0	▲49.8	▲45.4	▲30.1	▲28.0
	播磨地域	▲9.1	▲54.3	▲43.9	▲28.2	▲28.5
	但馬・丹波地域	▲18.3	▲71.4	▲63.9	▲45.1	▲39.2
	淡路地域	▲11.6	▲66.3	▲56.3	▲40.6	▲35.6
業種別	製造業	▲17.7	▲59.6	▲55.4	▲46.3	▲43.6
	建設業	7.2	▲40.1	▲30.8	▲24.9	▲21.7
	卸売業	▲15.0	▲65.0	▲59.4	▲41.0	▲38.7
	小売業	▲24.2	▲81.5	▲64.9	▲37.3	▲38.8
	不動産業	▲6.7	▲45.3	▲33.1	▲21.9	▲24.7
	運輸業	▲1.4	▲66.7	▲53.6	▲30.9	▲20.6
	宿泊・飲食業	▲25.0	▲100.0	▲93.3	▲43.5	▲30.4
	医療・福祉	3.6	▲57.7	▲44.4	▲29.4	▲25.5
	サービス業	▲9.3	▲59.4	▲56.3	▲38.4	▲40.0
	その他	▲9.7	▲47.1	▲47.8	▲33.3	▲29.4

景況判断の推移【全産業】

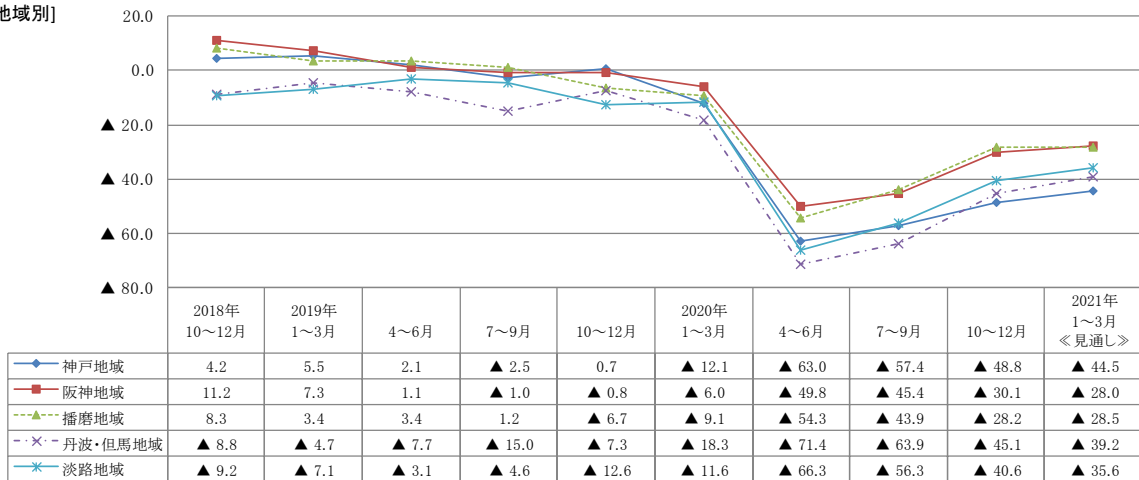


# 景況判断の推移明細

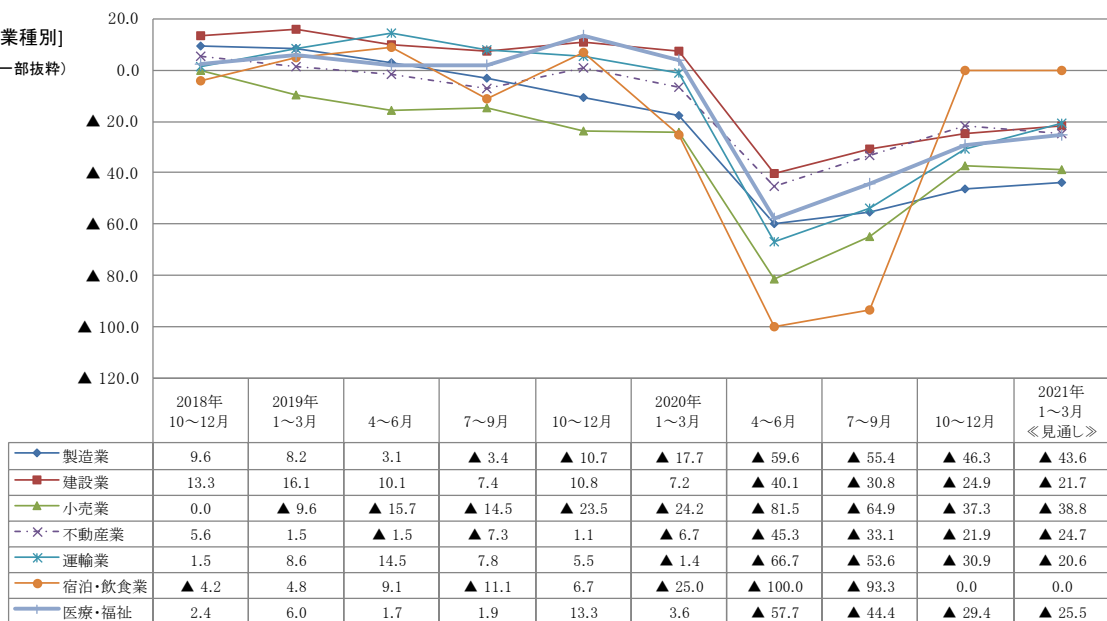
[規模別]



[地域別]



[業種別]  
(一部抜粋)





## 2. 売上高判断

### (1) 最近3ヵ月 [2020年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の売上高判断DI(「増加」-「減少」)は、全体では▲33.8となり11.0ポイント改善した。

業種別・・・『製造業』は販売数量、販売単価とも上昇し、▲44.0となった。『非製造業』も販売数量、販売単価とも上昇し、▲29.8となった。

規模別・・・販売数量は企業規模にかかわらず上昇し、全体では11.4ポイント上昇の▲32.6となった。販売単価は企業規模にかかわらず上昇し、全体では5.8ポイント上昇の▲9.7となった。

### 【参考】

地域別・・・全5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)すべて改善するも、全地域において少なくとも3四半期以上連続のマイナス判断となった。

業種別・・・すべての業種が改善となり、『宿泊・飲食業』、『医療・福祉』、『小売業』、『サービス業』、『卸売業』、『その他』の6業種は10ポイントを上回る改善となった。

### (2) 今後3ヵ月 [2021年1月~3月]

全産業・・・先行きは、5.4ポイント改善し、▲28.4になると予想している。

業種別・・・『製造業』は7.3ポイント改善の▲36.7、『非製造業』は4.8ポイント改善の▲25.0を見込む。

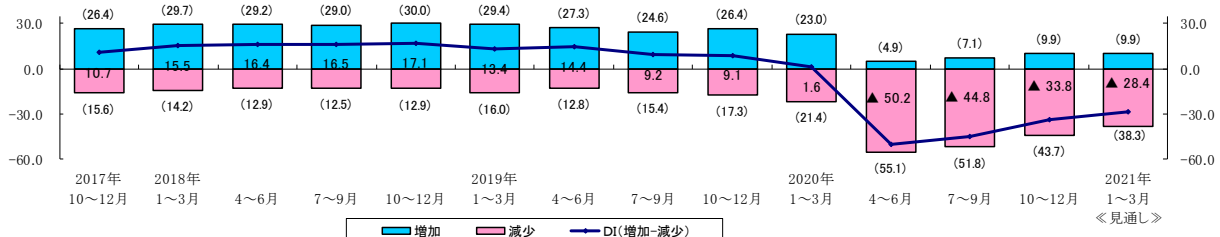
規模別・・・小規模企業は販売数量が上昇、販売単価が横ばい、中小企業は販売数量、販売単価とも上昇、中堅企業は販売数量が上昇、販売単価が低下すると見込んでいる。

(前年同期比)		「増加」-「減少」、「上昇」-「低下」				
項目	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》	
全産業	1.6	▲50.2	▲44.8	▲33.8	▲28.4	
販売数量	▲1.5	▲49.5	▲44.0	▲32.6	▲28.2	
小規模企業	▲6.6	▲40.2	▲32.1	▲26.5	▲20.8	
中小企業	1.6	▲52.0	▲47.9	▲36.2	▲32.0	
中堅企業	▲5.7	▲51.5	▲45.9	▲26.2	▲22.4	
販売単価	4.2	▲17.3	▲15.5	▲9.7	▲9.7	
小規模企業	0.7	▲14.7	▲11.9	▲8.8	▲8.8	
中小企業	5.6	▲19.0	▲16.5	▲11.3	▲10.7	
中堅企業	4.3	▲13.8	▲16.3	▲4.7	▲7.0	
製造業	▲5.9	▲51.8	▲51.3	▲44.0	▲36.7	
販売数量	▲11.4	▲50.9	▲50.4	▲43.1	▲37.0	
販売単価	3.8	▲13.9	▲13.5	▲10.3	▲10.8	
非製造業	4.3	▲49.7	▲42.1	▲29.8	▲25.0	
販売数量	2.0	▲49.0	▲41.4	▲28.3	▲24.6	
販売単価	4.5	▲18.5	▲16.4	▲9.4	▲9.2	

【参考】		「増加」-「減少」、「上昇」-「低下」				
項目	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲1.5	▲61.2	▲52.2	▲45.4	▲38.7
	阪神地域	14.9	▲40.0	▲35.6	▲22.6	▲17.2
	播磨地域	▲1.2	▲45.6	▲43.3	▲30.1	▲25.6
	但馬・丹波地域	▲11.7	▲69.8	▲58.3	▲25.5	▲19.6
	淡路地域	▲7.4	▲53.5	▲44.7	▲44.6	▲38.6
業種別	製造業	▲5.9	▲51.8	▲51.3	▲44.0	▲36.7
	建設業	22.1	▲35.5	▲25.3	▲16.7	▲10.9
	卸売業	▲5.2	▲57.7	▲54.2	▲41.0	▲37.2
	小売業	▲15.8	▲77.8	▲51.9	▲35.8	▲37.3
	不動産業	7.3	▲33.7	▲21.9	▲14.2	▲11.7
	運輸業	5.5	▲55.6	▲47.8	▲38.2	▲26.5
	宿泊・飲食業	▲29.4	▲100.0	▲93.3	▲43.5	▲34.8
	医療・福祉	14.5	▲46.2	▲46.3	▲27.5	▲15.7
	サービス業	6.7	▲53.5	▲58.3	▲42.4	▲42.4
	その他	▲5.6	▲49.0	▲46.4	▲35.3	▲23.5

※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

### 売上高判断の推移【全産業】



### 3. 経常利益判断

#### (1) 最近3ヵ月 [2020年10月~12月]

- 全産業・・・最近3ヵ月の経常利益判断DI(「増加」-「減少」)は、13.5ポイント改善の▲27.7となった。
- 業種別・・・『製造業』は9.9ポイント改善の▲36.9、『非製造業』は15.0ポイント改善の▲24.0となった。  
『製造業』、『非製造業』ともに企業規模にかかわらず改善した。
- 規模別・・・『小規模企業』は12.8ポイント、『中小企業』は12.3ポイント、『中堅企業』は20.8ポイント改善した。

#### 【参考】

- 地域別・・・全5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)が改善したが、全地域において少なくとも3四半期以上連続のマイナス判断となった。
- 業種別・・・すべての業種が改善した。特に『宿泊・飲食業』が45.5ポイント、『小売業』が27.2ポイント、『医療・福祉』が21.1ポイントと改善幅が大きい。

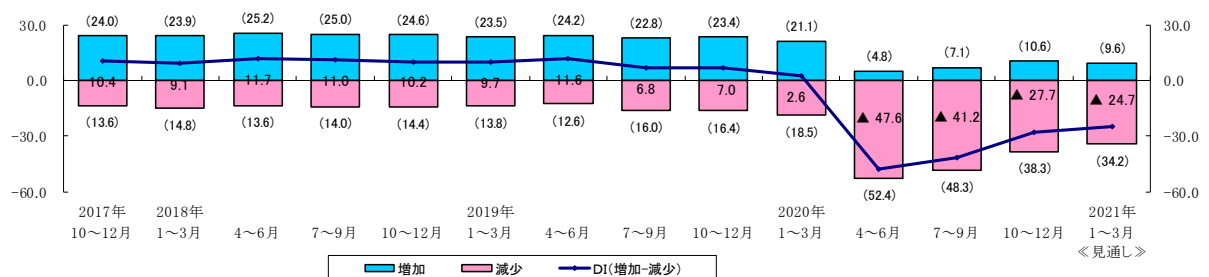
#### (2) 今後3ヵ月 [2021年1月~3月]

- 全産業・・・先行きは、3.0ポイント改善の▲24.7を見込む。
- 業種別・・・『製造業』が4.9ポイント改善の▲32.0、『非製造業』は2.3ポイント改善の▲21.7と予想している。
- 規模別・・・『小規模企業』は3.2ポイント、『中小企業』は3.4ポイント、『中堅企業』は1.7ポイントの改善を見込んでいる。

項目	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》
全産業	2.6	▲47.6	▲41.2	▲27.7	▲24.7
小規模企業	2.2	▲38.5	▲32.6	▲19.8	▲16.6
中小企業	4.3	▲50.1	▲44.0	▲31.7	▲28.3
中堅企業	▲2.9	▲50.0	▲42.6	▲21.8	▲20.1
製造業	▲4.3	▲49.7	▲46.8	▲36.9	▲32.0
小規模企業	▲21.7	▲43.5	▲38.5	▲30.4	▲21.7
中小企業	0.0	▲50.4	▲48.7	▲41.0	▲35.5
中堅企業	▲14.3	▲48.5	▲42.7	▲23.7	▲22.4
非製造業	5.1	▲46.9	▲39.0	▲24.0	▲21.7
小規模企業	4.0	▲38.1	▲32.0	▲18.8	▲16.1
中小企業	6.3	▲50.0	▲41.6	▲27.0	▲24.8
中堅企業	2.5	▲50.8	▲42.6	▲20.8	▲18.9

項目	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	2.6	▲56.1	▲46.5	▲40.7	▲37.6
	阪神地域	9.3	▲38.1	▲34.9	▲18.3	▲14.3
	播磨地域	▲0.4	▲44.0	▲39.6	▲21.9	▲19.4
	但馬・丹波地域	▲5.0	▲63.5	▲55.6	▲29.4	▲25.5
	淡路地域	▲1.1	▲54.5	▲41.7	▲33.7	▲31.7
業種別	製造業	▲4.3	▲49.7	▲46.8	▲36.9	▲32.0
	建設業	20.6	▲32.5	▲24.6	▲19.0	▲16.4
	卸売業	▲5.2	▲55.7	▲51.0	▲33.0	▲30.2
	小売業	▲4.3	▲79.0	▲48.1	▲20.9	▲28.4
	不動産業	8.9	▲29.7	▲19.2	▲6.5	▲5.9
	運輸業	0.0	▲53.2	▲47.8	▲27.9	▲20.6
	宿泊・飲食業	▲17.6	▲100.0	▲93.3	▲47.8	▲30.4
	医療・福祉	14.5	▲42.3	▲40.7	▲19.6	▲15.7
	サービス業	▲1.7	▲50.5	▲50.5	▲33.6	▲34.4
	その他	6.9	▲41.2	▲40.6	▲33.3	▲23.5

経常利益判断の推移【全産業】



## 4. 仕入価格判断

### (1) 最近3ヵ月 [2020年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の仕入価格判断DI(「上昇」-「低下」)は▲4.3と3.0ポイント上昇した。

業種別・・・『製造業』は企業規模にかかわらず上昇し、全体では2.5ポイント上昇の▲4.5となった。『非製造業』も企業規模にかかわらず上昇し、全体では3.2ポイント上昇の▲4.3となった。

規模別・・・『小規模企業』は4.4ポイント、『中小企業』は2.2ポイント、『中堅企業』は4.9ポイント上昇した。

#### 【参考】

地域別・・・『神戸地域』が低下し、その他の4地域(阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)が上昇した。『播磨地域』、『但馬・丹波地域』、『淡路地域』がプラス判断に転じた。

業種別・・・『医療・福祉』は横ばい、『その他』は低下し、それ以外の業種は上昇した。『建設業』がプラス判断に転じた。

### (2) 今後3ヵ月 [2021年1月~3月]

全産業・・・先行きは、1.1ポイント上昇の▲3.2と予想している。

業種別・・・『製造業』は1.6ポイント上昇の▲2.9、『非製造業』は1.0ポイント上昇の▲3.3を見込む。

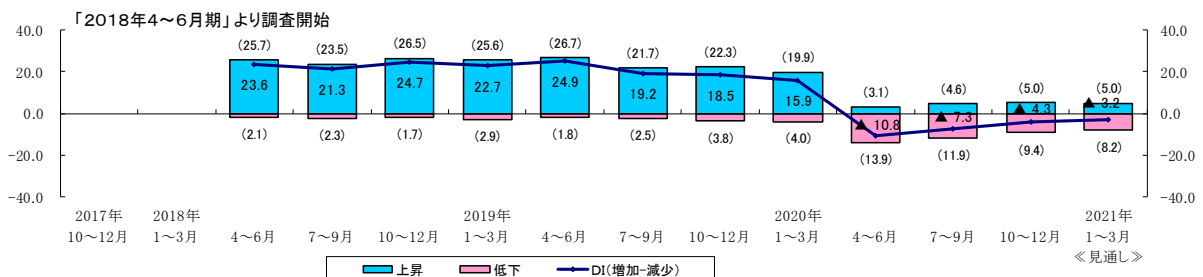
規模別・・・『小規模企業』は1.9ポイント、『中堅企業』は0.9ポイント、『中小企業』は0.9ポイント上昇すると見ている。

項目	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》
全産業	15.9	▲10.8	▲7.3	▲4.3	▲3.2
小規模企業	15.4	▲5.9	▲5.9	▲1.5	0.4
中小企業	16.5	▲12.3	▲7.5	▲5.3	▲4.4
中堅企業	14.7	▲10.1	▲8.6	▲3.7	▲2.8
製造業	15.4	▲8.4	▲7.0	▲4.5	▲2.9
小規模企業	13.0	4.3	0.0	8.7	8.7
中小企業	16.3	▲6.4	▲6.6	▲5.7	▲3.5
中堅企業	13.0	▲19.1	▲10.7	▲3.9	▲3.9
非製造業	16.2	▲11.7	▲7.5	▲4.3	▲3.3
小規模企業	15.6	▲6.8	▲6.5	▲2.5	▲0.4
中小企業	16.8	▲14.9	▲8.0	▲5.1	▲4.8
中堅企業	15.6	▲5.0	▲7.3	▲3.5	▲2.1

項目	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	14.0	▲13.9	▲14.4	▲16.4	▲11.6
	阪神地域	21.4	▲3.0	▲2.9	▲2.2	▲2.6
	播磨地域	12.5	▲12.4	▲3.9	0.4	0.4
	但馬・丹波地域	23.7	▲11.3	▲11.1	9.8	7.8
	淡路地域	17.9	▲17.0	▲8.2	3.1	2.0
業種別	製造業	15.4	▲8.4	▲7.0	▲4.5	▲2.9
	建設業	27.1	▲4.2	▲2.1	0.5	0.5
	卸売業	13.4	▲16.0	▲7.9	▲3.0	▲5.0
	小売業	12.8	▲26.3	▲6.5	▲3.0	▲4.5
	不動産業	16.3	▲5.7	▲4.2	▲1.4	1.4
	運輸業	10.6	▲22.0	▲19.7	▲9.4	▲9.4
	宿泊・飲食業	0.0	▲23.8	▲33.3	▲26.1	▲17.4
	医療・福祉	12.0	2.2	0.0	0.0	4.2
	サービス業	15.0	▲14.6	▲16.2	▲13.1	▲11.5
	その他	10.3	▲8.3	▲4.6	▲6.0	2.0

※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

#### 仕入価格判断の推移【全産業】



## 5. 生産判断（製造業のみ）

### (1) 最近3ヵ月〔2020年10月～12月〕

全体……最近3ヵ月の生産判断DI（「増加」－「減少」）は▲32.9となり、10.2ポイント上昇と8四半期ぶりに上昇したが、40.8%の企業は減少と回答した。

規模別……『小規模企業』が2.6ポイント低下、一方で『中小企業』が11.9ポイント、『中堅企業』は8.3ポイント上昇した。

#### 【参考】

地域別……『神戸地域』、『阪神地域』、『播磨地域』、『淡路地域』が上昇し、『但馬・丹波地域』が低下した。

### (2) 今後3ヵ月〔2021年1月～3月〕

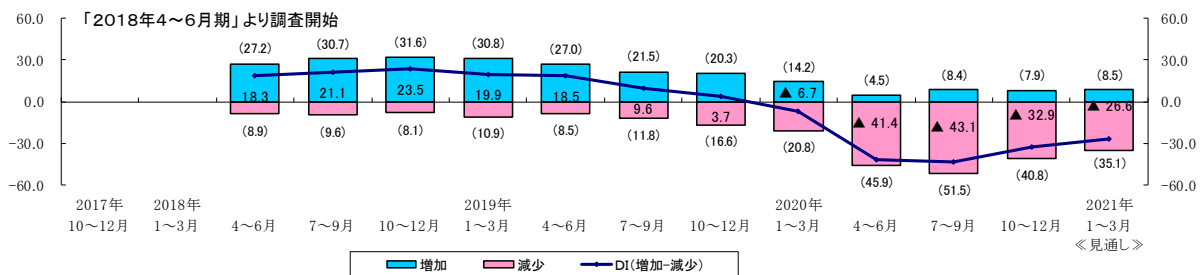
全体……先行きは、▲26.6と6.3ポイントの上昇を見込む。

規模別……『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』ともに上昇を見込む。

項目	「増加」－「減少」				
	2020年 1～3月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月 《見通し》
製造業	▲6.7	▲41.4	▲43.1	▲32.9	▲26.6
小規模企業	▲31.8	▲40.9	▲42.9	▲45.5	▲40.9
中小企業	▲2.3	▲42.2	▲45.0	▲33.1	▲25.4
中堅企業	▲14.5	▲41.8	▲36.5	▲28.2	▲26.8

項目	「増加」－「減少」					
	2020年 1～3月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲6.5	▲47.0	▲45.3	▲44.4	▲24.7
	阪神地域	4.3	▲43.2	▲54.5	▲32.6	▲13.9
	播磨地域	▲9.3	▲31.1	▲38.9	▲26.0	▲19.6
	但馬・丹波地域	▲15.4	▲74.1	▲42.9	▲45.0	▲45.5
	淡路地域	5.9	▲60.0	▲52.4	▲47.8	▲48.3

#### 生産判断の推移【製造業】



## 6. 在庫判断

### (1) 最近3ヵ月 [2020年10月~12月]

全産業・・・「適正」の判断が大半(92.5%)を占めるが、最近3ヵ月の在庫判断DI(「不足」-「過剰」)は、『全産業』が▲3.3から▲2.9となり、過剰感がやや弱まった。

業種別・・・『製造業』は過剰感が2.8ポイント弱まり▲3.4、一方『非製造業』は過剰感が0.7ポイント強まり▲2.7となった。

規模別・・・『小規模企業』は▲1.2、『中小企業』は▲4.1、『中堅企業』は▲0.5といずれも過剰と判断している。

### 【参考】

地域別・・・『阪神地域』は適正、『淡路地域』は不足、他の3地域(神戸、播磨、但馬・丹波)は過剰となった。

業種別・・・『不動産業』を除く業種が過剰となっている。

### (2) 今後3ヵ月 [2021年1月~3月]

全産業・・・今後についても「適正」とする企業が多いが、先行きは▲2.3となり、過剰の状態が続くと予想している。

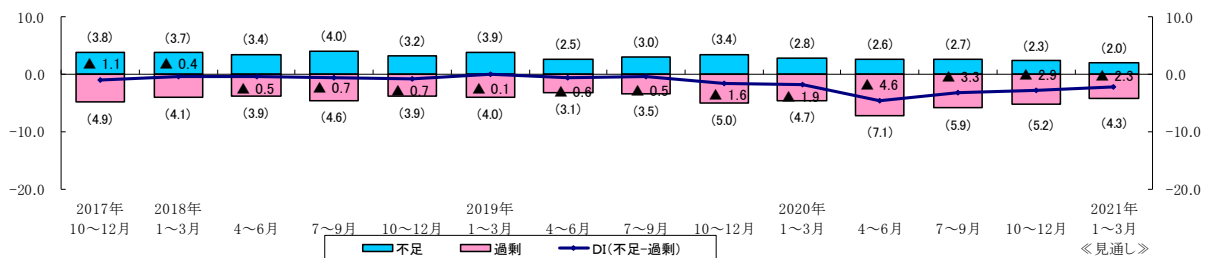
業種別・・・『製造業』は▲3.7と過剰感がやや強まり、『非製造業』は▲1.7と過剰感がやや弱まると見ている。

規模別・・・『小規模企業』と『中小企業』は過剰感がやや弱まり、『中堅企業』は過剰感がやや強まると予想している。

項目	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》
全産業	▲1.9	▲4.6	▲3.3	▲2.9	▲2.3
小規模企業	▲0.7	▲2.6	▲1.5	▲1.2	▲0.4
中小企業	▲2.6	▲5.5	▲4.1	▲4.1	▲3.2
中堅企業	▲0.9	▲1.6	▲2.1	▲0.5	▲1.0
製造業	▲5.1	▲6.9	▲6.2	▲3.4	▲3.7
小規模企業	▲4.3	▲21.7	▲11.5	▲4.3	▲4.3
中小企業	▲4.8	▲7.3	▲5.9	▲4.9	▲5.0
中堅企業	▲5.2	▲1.5	▲5.3	2.6	1.3
非製造業	▲0.6	▲3.7	▲2.0	▲2.7	▲1.7
小規模企業	▲0.4	▲0.8	▲0.4	▲0.9	0.0
中小企業	▲1.5	▲4.7	▲3.2	▲3.6	▲2.3
中堅企業	1.4	▲1.7	0.0	▲2.2	▲2.3

項目	2019年 10~12月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲2.4	▲3.1	▲5.0	▲5.6	▲4.2
	阪神地域	1.6	▲1.0	1.5	0.0	0.8
	播磨地域	▲5.2	▲7.5	▲4.2	▲3.9	▲3.9
	但馬・丹波地域	5.2	▲10.2	▲8.8	▲2.0	2.1
	淡路地域	1.1	▲4.3	▲3.1	4.1	3.1
業種別	製造業	▲5.1	▲6.9	▲6.2	▲3.4	▲3.7
	建設業	3.0	1.1	▲0.6	▲1.0	0.0
	卸売業	▲5.2	▲7.0	▲7.9	▲9.5	▲7.1
	小売業	▲1.1	▲15.0	▲4.1	▲6.0	▲3.0
	不動産業	4.4	▲0.6	0.0	1.5	2.3

### 在庫判断の推移【全産業】



## 7. 資金繰り判断

### (1) 最近3ヵ月 [2020年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の資金繰り判断DI(「楽である」-「苦しい」)は、4.9ポイント改善し、0.8と3四半期ぶりにプラス判断に転じた。

全体では「楽である」(8.7%)と「普通」(83.4%)を合わせて92.1%と大半を占める。

業種別・・・『製造業』は3.8ポイント改善の1.6となった。『小規模企業』が0.5ポイント悪化の▲4.3、『中小企業』、『中堅企業』がそれぞれ2.9ポイント、7.8ポイント改善の▲0.4、10.5となった。『非製造業』は5.3ポイント改善の0.5となった。『小規模企業』は横ばい、『中小企業』、『中堅企業』はそれぞれ7.3ポイント、7.5ポイント改善の1.4、2.1となった。

規模別・・・『小規模企業』は悪化、『中小企業』、『中堅企業』は改善し、プラスに転じた。

### 【参考】

地域別・・・すべての地域で改善するも4地域(神戸、阪神、但馬・丹波、淡路)はマイナス判断が続いた。『播磨地域』はプラス判断が拡大した。

業種別・・・『小売業』が悪化し、それ以外の業種は改善した。特に『宿泊・飲食業』と『運輸業』の改善幅が大きかった。

### (2) 今後3ヵ月 [2021年1月~3月]

全産業・・・先行きは、1.0ポイント悪化の▲0.2を見込む。

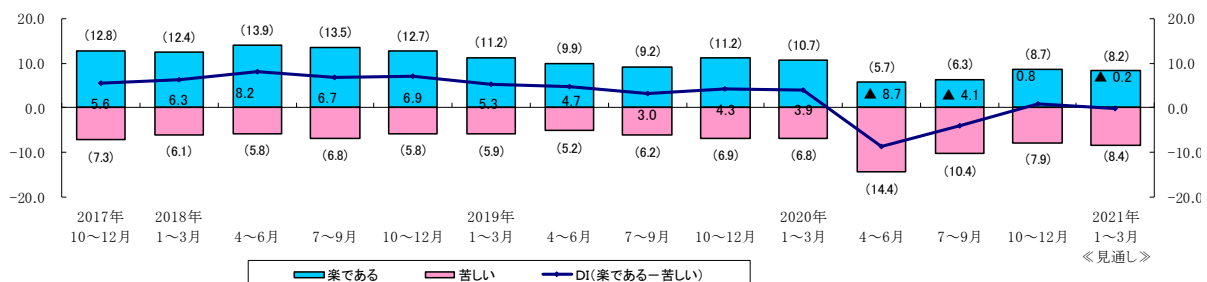
業種別・・・『製造業』は1.3ポイント悪化の0.3、『非製造業』は0.9ポイント悪化の▲0.4を見込む。

規模別・・・『小規模企業』は改善、『中小企業』、『中堅企業』は悪化すると予想している。

項目	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》
全産業	3.9	▲8.7	▲4.1	0.8	▲0.2
小規模企業	▲1.6	▲7.0	▲2.5	▲2.6	▲2.2
中小企業	4.3	▲8.9	▲5.0	0.8	▲0.6
中堅企業	10.1	▲8.2	▲2.5	5.0	3.7
製造業	2.7	▲7.0	▲2.2	1.6	0.3
小規模企業	▲4.3	▲13.0	▲3.8	▲4.3	0.0
中小企業	2.6	▲8.6	▲3.3	▲0.4	▲2.1
中堅企業	5.2	0.0	2.7	10.5	9.2
非製造業	4.3	▲9.4	▲4.8	0.5	▲0.4
小規模企業	▲1.3	▲6.4	▲2.4	▲2.4	▲2.4
中小企業	5.0	▲9.0	▲5.9	1.4	0.2
中堅企業	12.4	▲12.5	▲5.4	2.1	0.7

項目	2019年 10~12月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	6.6	▲9.4	▲6.0	▲1.8	▲1.8
	阪神地域	▲1.8	▲10.8	▲7.7	▲1.4	▲2.2
	播磨地域	8.1	▲4.5	0.4	4.9	4.0
	但馬・丹波地域	▲5.0	▲9.5	▲13.9	▲5.9	▲15.7
	淡路地域	▲5.3	▲18.8	▲4.9	▲1.0	▲3.0
	製造業	2.7	▲7.0	▲2.2	1.6	0.3
業種別	建設業	10.3	4.6	3.5	8.1	5.4
	卸売業	▲0.9	▲11.9	▲8.3	▲0.5	▲2.0
	小売業	3.2	▲24.7	0.0	▲3.0	▲3.0
	不動産業	6.7	▲5.3	1.3	2.6	3.2
	運輸業	4.1	▲15.9	▲11.6	0.0	0.0
	宿泊・飲食業	5.9	▲54.5	▲40.0	▲26.1	▲21.7
	医療・福祉	3.6	▲11.5	▲7.4	2.0	2.0
	サービス業	3.4	▲7.9	▲12.6	▲4.0	▲6.4
	その他	0.0	▲15.7	▲10.1	▲7.8	▲5.9

資金繰り判断の推移【全産業】



※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

## 8. 雇用判断

### (1) 最近3ヵ月 [2020年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の雇用判断DI(「不足」-「過剰」)は、3.1ポイント上昇の7.3と、不足感はやや強まった。

業種別・・・『製造業』は0.7ポイント上昇の3.9、『非製造業』は4.0ポイント上昇の8.6となった。

規模別・・・『小規模企業』は1.0ポイント低下し、『中小企業』、『中堅企業』はそれぞれ4.5ポイント、2.5ポイント上昇した。

#### 【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』は低下したが、その他の4地域(神戸、阪神、播磨、淡路)は上昇した。特に『淡路地域』は大幅に上昇し、不足感が強まった。

業種別・・・『不動産業』は横ばい、『その他』は低下し、それ以外の業種は上昇した。『宿泊・飲食業』、『その他』では過剰の状態が続いている。

### (2) 今後3ヵ月 [2021年1月~3月]

全産業・・・先行きは、7.8と0.5ポイント上昇し、不足感がやや強まる予想となった。

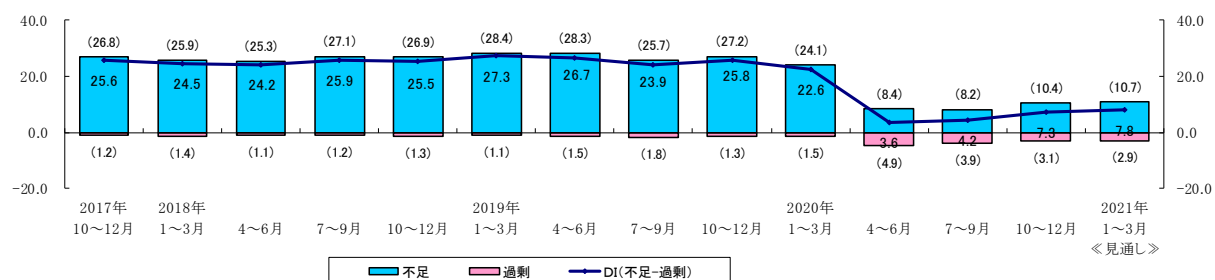
業種別・・・『製造業』は0.8ポイント上昇の4.7とやや不足感が強まり、『非製造業』は0.5ポイント上昇の9.1と不足感は強まると予想している。

規模別・・・『小規模企業』は横ばい、『中小企業』、『中堅企業』は不足感が強まると見ている。

項目	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》
全産業	22.6	3.6	4.2	7.3	7.8
小規模企業	11.8	3.1	5.0	4.0	4.0
中小企業	23.6	2.7	4.2	8.7	9.4
中堅企業	33.1	7.1	3.4	5.9	6.4
製造業	17.3	0.6	3.2	3.9	4.7
小規模企業	26.1	4.3	11.5	8.7	8.7
中小企業	16.0	▲0.4	2.2	3.5	4.3
中堅企業	18.4	0.0	4.0	3.9	5.3
非製造業	24.5	4.6	4.6	8.6	9.1
小規模企業	10.7	3.0	4.3	3.6	3.6
中小企業	27.0	4.1	5.2	11.3	12.0
中堅企業	40.0	10.9	3.1	6.9	7.0

項目	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	21.4	▲0.3	0.8	7.3	8.1
	阪神地域	16.9	5.7	4.9	6.1	7.2
	播磨地域	25.7	4.5	5.5	7.2	7.4
	但馬・丹波地域	31.7	4.8	19.4	7.8	7.8
	淡路地域	26.6	5.0	3.9	10.9	10.9
業種別	製造業	17.3	0.6	3.2	3.9	4.7
	建設業	47.1	18.3	21.6	23.1	24.4
	卸売業	8.6	▲2.5	▲1.6	3.0	2.5
	小売業	20.2	▲8.6	0.0	7.5	9.0
	不動産業	3.9	1.8	2.6	2.6	3.2
	運輸業	34.2	1.6	0.0	13.2	13.2
	宿泊・飲食業	23.5	▲9.1	▲33.3	▲8.7	▲17.4
	医療・福祉	34.5	11.5	0.0	5.9	7.8
	サービス業	33.6	6.1	4.9	6.4	6.4
	その他	29.6	9.8	▲1.4	▲2.0	0.0

雇用判断の推移【全産業】



※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

## 9. 設備投資判断

### (1) 最近3ヵ月 [2020年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の設備投資判断DI(「増加」-「減少」)は、0.8ポイント上昇の▲5.0となるも、3四半期連続のマイナス判断となった。

業種別・・・『製造業』は小規模、中小企業が低下、中堅企業が上昇し、全体では▲7.9と1.3ポイント低下した。『非製造業』は企業規模にかかわらず上昇し、▲3.8と1.7ポイント上昇した。

規模別・・・『小規模企業』が0.8ポイント上昇の▲5.3、『中小企業』が0.7ポイント上昇の▲5.0、『中堅企業』が1.5ポイント上昇の▲4.6となった。

### 【参考】

地域別・・・『阪神地域』、『但馬・丹波地域』が上昇、『播磨地域』は横ばい、『神戸地域』、『淡路地域』は低下した。『淡路地域』のみ、2四半期連続のプラス判断となった。

業種別・・・『製造業』、『卸売業』、『小売業』、『運輸業』は低下し、それ以外の業種は上昇した。『不動産業』と『医療福祉』はプラス判断となった。

### (2) 今後3ヵ月 [2020年1月~3月]

全産業・・・先行きは、0.8ポイント上昇の▲4.2を見込む。

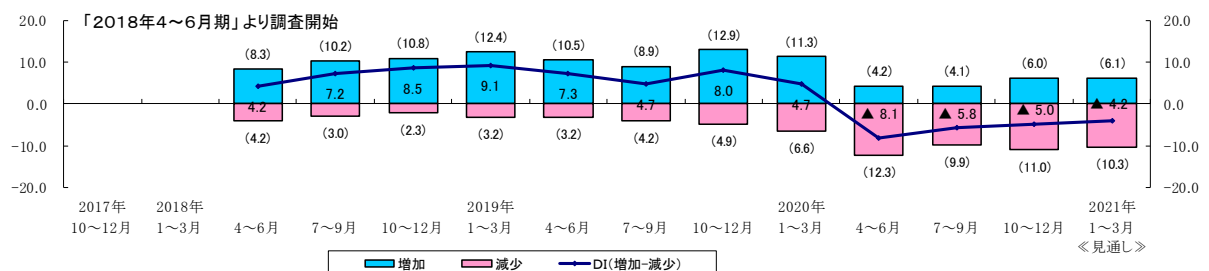
業種別・・・『製造業』は0.8ポイント上昇の▲7.1、『非製造業』も0.8ポイント上昇の▲3.0を予想している。

規模別・・・『小規模企業』は0.4ポイントの低下、『中小企業』、『中堅企業』はそれぞれ0.1ポイント、5.1ポイントの上昇を予想している。

項目	前年同期比				「増加」-「減少」	
	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》	
全産業	4.7	▲8.1	▲5.8	▲5.0	▲4.2	
小規模企業	▲1.0	▲4.0	▲6.1	▲5.3	▲5.7	
中小企業	5.1	▲10.2	▲5.7	▲5.0	▲4.9	
中堅企業	10.7	▲6.3	▲6.1	▲4.6	0.5	
製造業	3.0	▲9.1	▲6.6	▲7.9	▲7.1	
小規模企業	▲9.1	4.3	0.0	▲13.0	▲8.7	
中小企業	3.3	▲12.8	▲7.1	▲7.8	▲8.5	
中堅企業	5.3	▲1.5	▲6.8	▲6.6	▲1.3	
非製造業	5.3	▲7.8	▲5.5	▲3.8	▲3.0	
小規模企業	▲0.3	▲4.7	▲6.8	▲4.6	▲5.4	
中小企業	6.0	▲9.0	▲4.9	▲3.6	▲3.1	
中堅企業	13.3	▲8.8	▲5.7	▲3.5	1.4	

項目	「増加」-「減少」					
	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月	2021年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	6.9	▲9.4	▲5.4	▲6.1	▲4.0
	阪神地域	4.8	▲8.3	▲10.0	▲4.5	▲5.7
	播磨地域	1.5	▲7.3	▲5.5	▲5.5	▲4.8
	但馬・丹波地域	11.9	0.0	▲8.3	▲7.8	0.0
	淡路地域	5.3	▲12.0	2.9	2.0	0.0
業種別	製造業	3.0	▲9.1	▲6.6	▲7.9	▲7.1
	建設業	6.0	▲4.8	▲2.6	▲0.9	0.9
	卸売業	1.3	▲11.1	▲7.9	▲8.2	▲7.7
	小売業	▲3.3	▲19.2	▲6.7	▲10.4	▲4.5
	不動産業	8.6	▲3.1	▲5.2	1.4	▲0.7
	運輸業	5.6	0.0	▲4.4	▲10.4	▲6.0
	宿泊・飲食業	5.9	▲18.2	▲13.3	▲13.0	▲8.7
	医療・福祉	18.9	▲3.8	1.9	8.0	6.0
	サービス業	7.8	▲7.1	▲6.1	▲4.8	▲5.6
	その他	4.2	▲14.0	▲10.3	▲2.0	▲2.0

### 設備投資判断の推移【全産業】





## ◆ 新型コロナウイルスの影響について

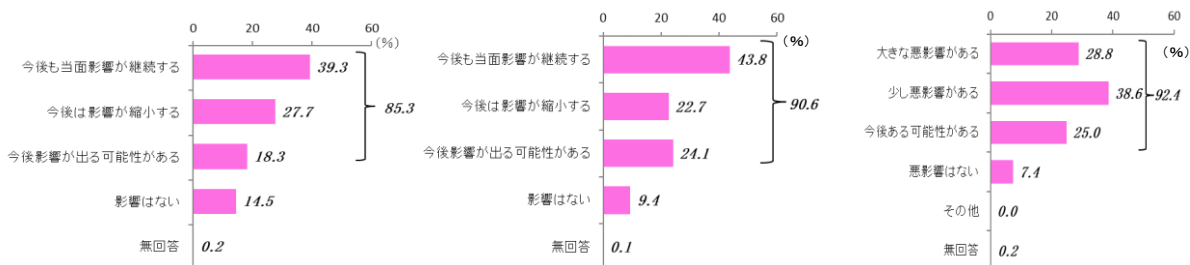
### (1) 経営への影響

- ・新型コロナウイルスの経営への影響について、影響があるとする企業は 67.0%（「今後も当面影響が継続する」39.3%、「今後は影響が縮小する」27.7%）となり、前回（8月調査）、前々回（5月調査）同様に7割弱の企業に影響があるとの結果となった。また、「今後影響が出る可能性がある」は18.3%となり、85.3%の企業が現状もしくは今後影響があると考えている。
- ・規模別に影響のある企業をみると、小規模企業は54.6%（前回54.7%、前々回60.8%）、中小企業は69.6%（同69.3%、68.7%）、中堅企業が72.2%（同72.6%、70.9%）となっており、前回、前々回調査と同様に企業規模の大きい企業ほど高い結果となった。
- ・影響があると回答した先を業種別にみると、宿泊・飲食業が95.6%（前回93.3%、前々回100.0%）、小売業が77.6%（同80.5%、93.8%）となっており、上位2業種は前回、前々回と同じであった。

今回調査

（参考：8月調査）

（参考：5月調査）

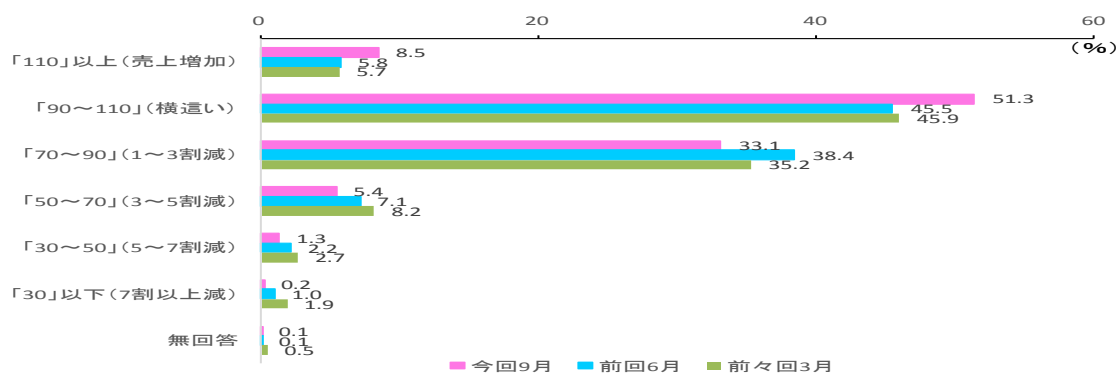


(%)

		回答 企業数 (社)	① 今後も当面 影響が継続 する	② 今後は影響 が縮小する	①+② 影響がある	今後影響が出 る可能性があ る	影響はない	無回答	合計	
全産業		1,344	39.3	27.7	67.0	18.3	14.5	0.2	100.0	
規模別	小規模企業	273	29.7	24.9	54.6	20.5	24.9	0.0	100.0	
	中小企業	849	41.2	28.4	69.6	18.3	11.9	0.2	100.0	
	中堅企業	220	43.6	28.6	72.2	15.9	11.8	0.0	100.0	
業種別	製造業	382	49.5	27.0	76.5	12.8	10.7	0.0	100.0	
	非製造業	建設業	222	20.3	35.1	55.4	29.7	14.0	0.9	100.0
		卸売業	200	46.5	24.5	71.0	14.5	14.0	0.5	100.0
		小売業	67	52.2	25.4	77.6	14.9	7.5	0.0	100.0
		不動産業	155	20.0	23.2	43.2	22.6	34.2	0.0	100.0
		運輸業	68	41.2	32.4	73.6	17.6	8.8	0.0	100.0
		宿泊・飲食業	23	82.6	13.0	95.6	0.0	4.3	0.0	100.0
		医療・福祉	51	41.2	29.4	70.6	19.6	9.8	0.0	100.0
		サービス	125	40.8	29.6	70.4	19.2	10.4	0.0	100.0
その他	51	31.4	23.5	54.9	21.6	23.5	0.0	100.0		

(2)今年9月の売上水準は（前年同月を100とすると）

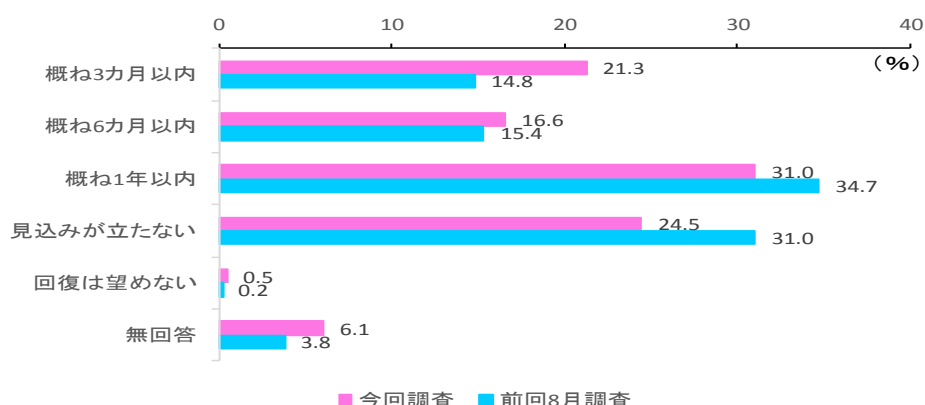
- 今年9月の売上水準は、前年同月を「100」とすると「110」以上（売上増加）が8.5%、「90～100」（横這い）が51.3%、「70～90」（1～3割減）が33.1%、「50～70」（3～5割減）が5.4%、「30～50」（5～7割減）が1.3%、「30」以下（7割以上減）が0.2%となり、前回、前々回調査（6月、3月の売上水準）とほぼ同様の結果となった。全産業において4割（40.0%）の企業が1割以上の売上減少となった。
- 売上水準を規模別にみると、横這い以上の企業は中堅企業が66.8%、小規模企業が63.4%と中小企業の57.0%より高く、また、1割以上売上減の企業は、中小企業が42.9%と中堅企業の33.2%、小規模企業の36.7%より高くなっており、小規模企業、中堅企業の方が中小企業より、1割以上売上減の企業は少なく、横這い以上の企業が多いという結果になった。
- 1割以上売上減と回答した先を業種別にみると、宿泊・飲食業が69.6%（前回80.0%、前々回95.5%）、小売業が49.3%（同61.0%、75.3%）と高くなっているが、前回、前々回に比べ改善してきている。



		回答 企業数 (社)	① 「110」以上 (売上増加)	② 「90～110」 (横這い)	①+② 横這い以上	③ 「70～90」 (1～3割減)	④ 「50～70」 (3～5割減)	⑤ 「30～50」 (5～7割減)	⑥ 「30」以下 (7割以上 減)	③+④+⑤+ ⑥ 1割以上減	無回答	合計	
全産業		1,344	8.5	51.3	59.8	33.1	5.4	1.3	0.2	40.0	0.1	100.0	
規模別	小規模企業	273	7.0	56.4	63.4	31.5	3.7	1.1	0.4	36.7	0.0	100.0	
	中小企業	849	8.4	48.6	57.0	34.7	6.6	1.4	0.2	42.9	0.0	100.0	
	中堅企業	220	10.9	55.9	66.8	28.6	3.2	1.4	0.0	33.2	0.0	100.0	
業種別	製造業	382	7.9	43.7	51.6	41.1	7.1	0.3	0.0	48.5	0.0	100.0	
	非製造業	建設業	222	9.9	66.7	76.6	18.9	2.3	1.4	0.5	23.1	0.5	100.0
		卸売業	200	12.0	40.0	52.0	37.5	8.0	2.5	0.0	48.0	0.0	100.0
		小売業	67	11.9	38.8	50.7	43.3	6.0	0.0	0.0	49.3	0.0	100.0
		不動産業	155	6.5	69.0	75.5	23.2	0.0	0.6	0.6	24.2	0.0	100.0
		運輸業	68	8.8	47.1	55.9	35.3	7.4	1.5	0.0	44.2	0.0	100.0
		宿泊・飲食業	23	4.3	26.1	30.4	34.8	26.1	8.7	0.0	69.6	0.0	100.0
		医療・福祉	51	7.8	62.7	70.5	27.5	2.0	0.0	0.0	29.5	0.0	100.0
		サービス	125	5.6	48.8	54.4	35.2	5.6	4.0	0.8	45.6	0.0	100.0
		その他	51	3.9	60.8	64.7	31.4	3.9	0.0	0.0	35.3	0.0	100.0

### (3) 発生前の水準に業績が回復するまでの期間

- ・新型コロナウイルス発生前の水準に業績が回復するまでの期間は、「概ね3カ月以内」が21.3%(前回14.8%)、「概ね6カ月以内」が16.6%(同15.4%)、「概ね1年以内」が31.0%(同34.7%)と下表「概ね1年以内(合計)」が68.9%(同64.9%)、「見込みが立たない」が24.5%(同31.0%)、「回復は望めない」は0.5%(同0.2%)と前回とほぼ同様の結果となった。
- ・規模別にみると、小規模企業、中小企業では「概ね1年以内(合計)」がそれぞれ69.5%(前回66.94%)、69.3%(同64.9%)と中堅企業より高く、中堅企業では「見込みが立たない」が28.2%(前回33.3%)が小規模企業、中小企業より高くなった。
- ・業種別にみると「概ね1年以内(合計)」の回答が、『運輸業』で76.5%、『小売業』で76.1%、『宿泊・飲食業』で73.9%、『卸売業』で72.0%、『その他』で70.7%となり、幅広い業種でほぼ1年以内の回復を見込む結果となった。

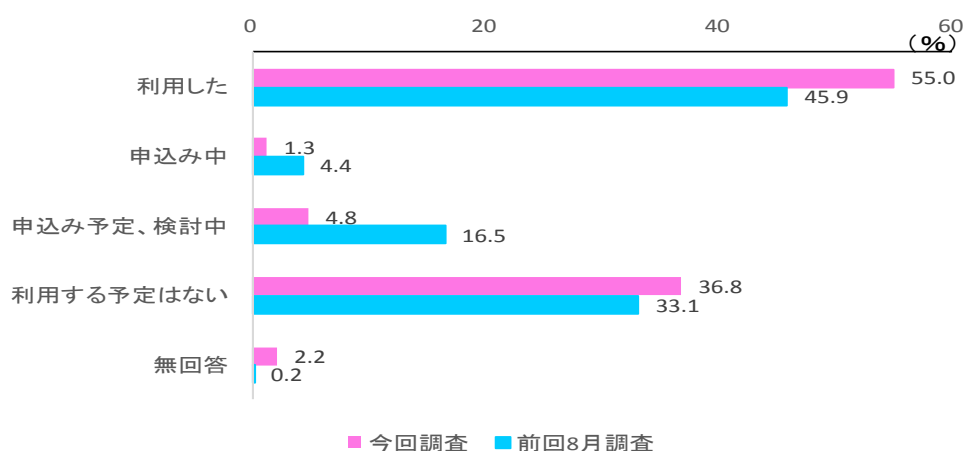


(%)

		回答 企業数 (社)	① 概ね3カ月以 内	② 概ね6カ月以 内	③ 概ね1年以内	①+②+③ 概ね1年以内 (合計)	見込みが立た ない	回復は望め ない	無回答	合計	
全産業		1,344	21.3	16.6	31.0	68.9	24.5	0.5	6.1	100.0	
規模別	小規模企業	273	25.6	16.8	27.1	69.5	23.1	0.0	7.3	100.0	
	中小企業	849	20.7	15.5	33.1	69.3	24.0	0.7	5.9	100.0	
	中堅企業	220	18.2	20.0	28.2	66.4	28.2	0.5	5.0	100.0	
業種別	製造業	382	16.2	15.4	34.3	65.9	29.6	0.5	3.9	100.0	
	非製造業	建設業	222	29.7	17.1	20.3	67.1	24.3	0.0	8.6	100.0
		卸売業	200	21.0	16.5	34.5	72.0	23.5	0.5	4.0	100.0
		小売業	67	22.4	13.4	40.3	76.1	20.9	1.5	1.5	100.0
		不動産業	155	25.2	14.8	29.0	69.0	16.8	0.0	14.2	100.0
		運輸業	68	13.2	26.5	36.8	76.5	19.1	0.0	4.4	100.0
		宿泊・飲食業	23	8.7	30.4	34.8	73.9	26.1	0.0	0.0	100.0
		医療・福祉	51	23.5	9.8	35.3	68.6	23.5	0.0	7.8	100.0
		サービス	125	20.0	18.4	28.0	66.4	28.0	1.6	4.0	100.0
その他	51	27.5	15.7	27.5	70.7	17.6	2.0	9.8	100.0		

#### (4)新型コロナウイルス感染症にかかる特別融資や制度融資の利用状況

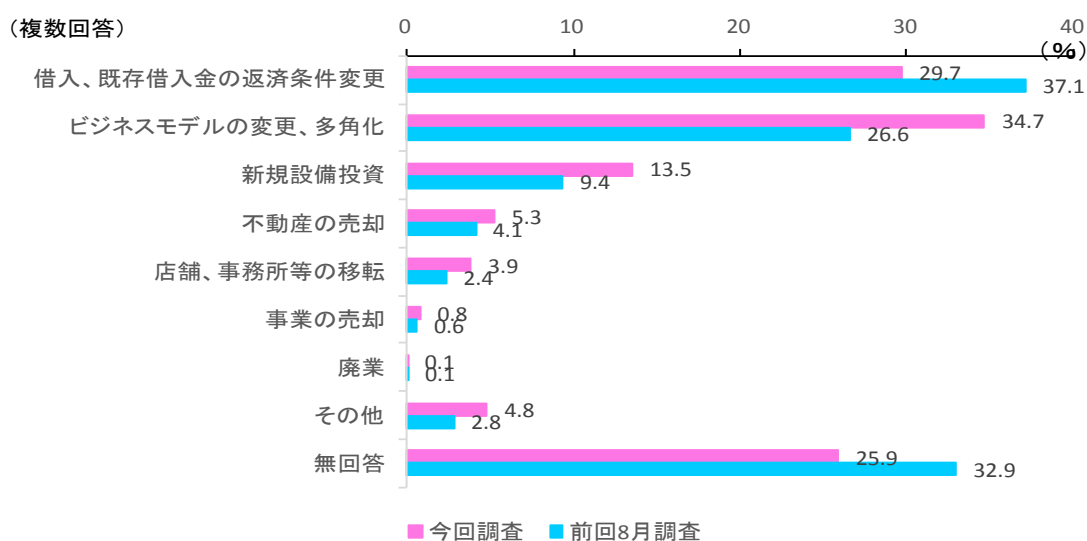
- ・新型コロナウイルス感染症にかかる特別融資や制度融資の利用状況は、「利用した」が55.0%(前回45.9%)、「申込み中」が1.3%(同4.4%)、「申込み予定、検討中」が4.8%(同16.5%)、「利用する予定はない」が36.8%(同33.1%)という結果となった。申込み中、予定が減少し、利用したが増加し、必要とする企業の利用は前回調査に比べ進んだとみられる。
- ・規模別にみると小規模企業、中小企業では「利用した」が56.8%(前回48.9%)、59.6%(同47.4%)と高く、多くの企業が利用している。中堅企業では「利用した」が35.5%(同36.3%)で、「利用する予定はない」が52.3%(同45.6%)と高い結果となった。前回調査に比べ、小規模、中小企業の利用が増加し、中堅企業では利用する予定はない企業が増えた。
- ・業種別にみると『不動産業』、『医療・福祉』、『その他』は「利用する予定がない」が高く、それ以外の業種では「利用した」が高い結果となった。特に「宿泊・飲食業」と「小売業」は69.6%(前回66.7%)、62.7%(同59.7%)と、利用した企業が多かった。



		回答 企業数 (社)	利用した	申込み中	申込み予 定、検討中	利用する予 定は ない	無回答	合計	
全産業		1,344	55.0	1.3	4.8	36.8	2.2	100.0	
規模別	小規模企業	273	56.8	1.1	3.7	37.0	1.5	100.0	
	中小企業	849	59.6	1.3	4.7	32.6	1.8	100.0	
	中堅企業	220	35.5	1.4	6.8	52.3	4.1	100.0	
業種別	製造業	382	58.4	0.8	5.0	33.2	2.6	100.0	
	非製造業	建設業	222	59.0	1.4	3.6	31.5	4.5	100.0
		卸売業	200	55.5	2.0	4.0	37.5	1.0	100.0
		小売業	67	62.7	1.5	1.5	32.8	1.5	100.0
		不動産業	155	45.8	0.6	5.2	47.7	0.6	100.0
		運輸業	68	60.3	0.0	5.9	32.4	1.5	100.0
		宿泊・飲食業	23	69.6	4.3	8.7	13.0	4.3	100.0
		医療・福祉	51	31.4	2.0	7.8	58.8	0.0	100.0
		サービス	125	54.4	1.6	8.8	33.6	1.6	100.0
その他	51	39.2	2.0	0.0	56.9	2.0	100.0		

(5)既に実施または、今後実施を検討している対策

- 既に実施または今後実施を検討している対策は、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」が29.7%(前回37.1%)、「ビジネスモデルの変更、多角化」が34.7%(同26.6%)、「新規設備投資」が13.5%(同9.4%)、「不動産の売却」が5.3%(同4.1%)、「店舗、事務所等の移転」が3.9%(同2.4%)、「事業の売却」が0.8%(同0.6%)、「廃業」が0.1%(同0.1%)という結果になった。コロナ禍での対応として将来的なビジネスモデルの変更等を検討する企業が増えた。
- 規模別でみると、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」は企業規模が小さいほど高く、「ビジネスモデルの変更、多角化」、「新規設備投資」は企業規模が大きいほど高くなった。
- 業種別でみると、非製造業に比べて製造業の方が、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」、「ビジネスモデルの変更、多角化」、「新規設備投資」の項目で高くなった。

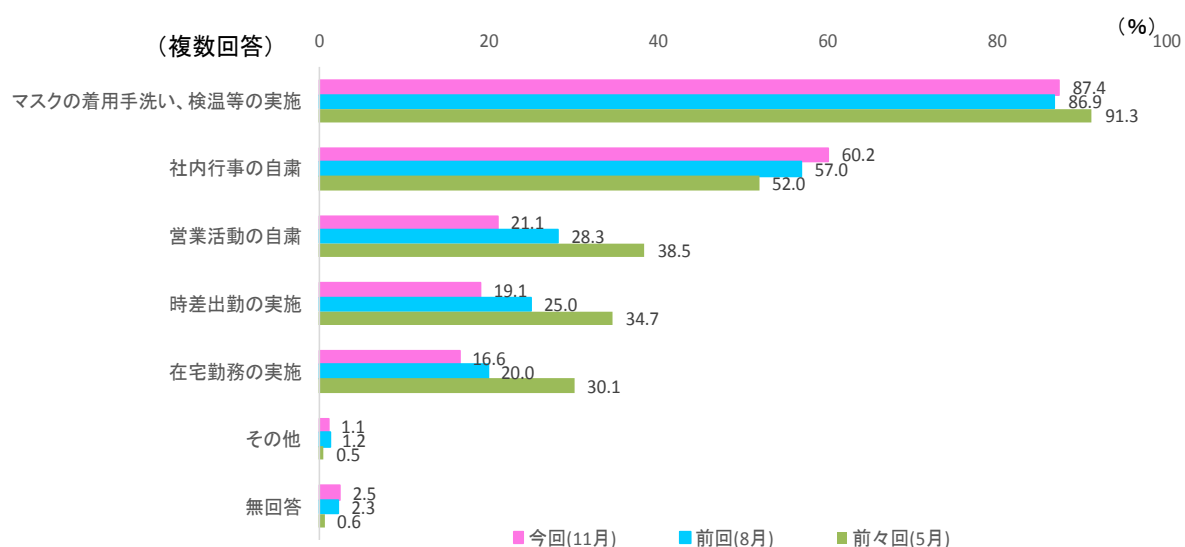


(複数回答) (%)

		回答企業数(社)	資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更	ビジネスモデルの変更、多角化	新規設備投資	不動産の売却	店舗、事務所等の移転	事業の売却	廃業	その他	無回答
全産業		1,344	29.7	34.7	13.5	5.3	3.9	0.8	0.1	4.8	25.9
規模別	小規模企業	273	32.6	29.7	7.7	8.1	2.9	1.1	0.0	6.2	26.4
	中小企業	849	30.5	34.3	13.2	4.9	3.7	0.7	0.1	4.9	26.3
	中堅企業	220	23.2	42.3	22.3	3.2	5.9	0.9	0.0	2.7	23.6
業種別	製造業	382	32.7	37.2	16.2	2.6	2.9	1.0	0.0	3.9	25.1
	非製造業	962	28.5	33.7	12.5	6.3	4.3	0.7	0.1	5.2	26.2

## (6) 現在、対策として実施しているものは

- ・現在、対策として実施しているものは、「マスクの着用や手洗い、検温等の励行」が 87.4%(前回 86.9%、前々回 91.3%)、「社内行事の自粛」が 60.2%(同 57.0%、52.0%)、「営業活動の自粛」が 21.1%(同 28.3%、38.5%)、「時差出勤(シフト勤務等)の実施」が 19.1%(同 25.0%、34.7%)、「在宅勤務(テレワーク等)の実施」が 16.6%(同 20.0%、30.1%)となった。前回、前々回調査時に比べ、「営業活動の自粛」「時差出勤の実施」「在宅勤務の実施」等の対策は徐々に緩められているという結果になった。
- ・規模別では、「社内行事の自粛」、「営業活動の自粛」、「時差出勤の実施」、「在宅勤務の実施」の項目において、前回、前々回調査と同様に企業規模が大きい企業の方が高いという結果となった。
- ・業種別では、製造業では非製造業より「営業活動の自粛」「在宅勤務の実施」の比率が高く、非製造業では製造業より「時差出勤の実施」の比率が高いという結果となった。



(複数回答)

(%)

	回答企業数(社)	マスクの着用や手洗い、検温等の実施	社内行事の自粛(延期、中止等)	営業活動の自粛	時差出勤(シフト勤務等)の実施	在宅勤務(テレワーク等)の実施	その他	無回答	
全産業	1,344	87.4	60.2	21.1	19.1	16.6	1.1	2.5	
規模別	小規模企業	273	86.4	43.2	16.8	15.0	12.8	0.7	2.6
	中小企業	849	88.8	63.0	21.9	18.0	16.0	1.2	1.8
	中堅企業	220	83.6	70.5	23.6	28.6	23.6	1.4	4.5
業種別	製造業	382	87.2	64.9	27.5	18.3	18.8	1.6	1.6
	非製造業	962	87.5	58.3	18.6	19.4	15.7	0.9	2.8

## ◆ トピックス

## — 2021年を表す漢字 —

- ・「2021年はどのような年にしたいか」を漢字 1 文字で表現してもらったところ、1 位には去年と同様に「安」(55 件)が選ばれた。コロナ禍で「安らか」や「安心」「安全」「安定」を望む気持ちが表れている。次に、「変」(52 件)「耐」(52 件)と続く。コロナ禍で「変わる」「耐える」等が選ばれ、「新」「進」「昇」「躍」「挑」など業容の拡大を期待する漢字が並んだ。

2021年を表す漢字

順位	漢字	件数
1	安	55
2	変	52
	耐	52
4	新	47
5	進	42
6	明	40
7	復	34
8	良	32
	昇	32
10	躍	31
11	改	27
12	楽	24
13	飛	22
14	挑	19
15	成	19

《参考》2020年を表す漢字

順位	漢字	件数
1	安	58
2	変	41
3	進	39
4	明	38
5	和	32
	新	32
7	飛	27
8	成	25
	改	25
10	良	24
	躍	24
	伸	24
	楽	24
14	幸	23
15	挑	19

#### IV.【参考】業況判断の内訳明細

景況判断

DI = 「良い」 - 「悪い」

項目	2020年 1～3月				2020年 4～6月				2020年 7～9月				2020年 10～12月				2021年 1～3月 《見通し》			
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
全産業	11.1	68.0	20.9	▲9.9	2.1	38.4	59.5	▲57.4	3.6	43.0	53.4	▲49.8	5.6	52.8	41.6	▲36.0	6.0	54.0	39.9	▲33.9
小規模企業	8.1	73.6	18.3	▲10.2	1.7	44.4	53.8	▲52.1	2.2	52.3	45.5	▲43.4	4.0	59.0	37.0	▲33.0	4.0	60.4	35.5	▲31.5
中小企業	12.5	66.2	21.2	▲8.7	2.1	36.8	61.1	▲59.0	3.1	42.2	54.7	▲51.7	5.7	51.4	43.0	▲37.3	6.4	52.8	40.9	▲34.5
中堅企業	10.1	67.2	22.7	▲12.6	3.1	35.7	61.2	▲58.2	7.8	32.8	59.3	▲51.5	7.3	50.9	41.8	▲34.5	7.3	51.1	41.6	▲34.2
製造業	8.6	65.1	26.3	▲17.7	3.3	33.7	63.0	▲59.6	5.1	34.4	60.5	▲55.4	5.8	42.1	52.1	▲46.3	5.5	45.4	49.1	▲43.6
小規模企業	8.7	39.1	52.2	▲43.5	8.7	21.7	69.6	▲60.9	7.7	30.8	61.5	▲53.8	8.7	21.7	69.6	▲60.9	8.7	26.1	65.2	▲56.5
中小企業	10.0	65.2	24.8	▲14.8	2.1	34.6	63.2	▲61.1	3.3	36.5	60.1	▲56.8	4.6	44.2	51.2	▲46.6	5.0	46.8	48.2	▲43.3
中堅企業	3.8	71.8	24.4	▲20.5	5.9	35.3	58.8	▲52.9	10.7	28.0	61.3	▲50.7	9.2	40.8	50.0	▲40.8	6.6	46.1	47.4	▲40.8
非製造業	11.9	69.1	19.0	▲7.0	1.7	40.0	58.3	▲56.5	3.0	46.4	50.5	▲47.5	5.5	57.0	37.5	▲31.9	6.3	57.5	36.3	▲30.0
小規模企業	8.0	76.3	15.7	▲7.7	1.1	46.4	52.5	▲51.3	1.6	54.5	43.9	▲42.3	3.6	62.4	34.0	▲30.4	3.6	63.6	32.8	▲29.2
中小企業	13.7	66.8	19.5	▲5.8	2.1	37.8	60.1	▲58.1	3.0	45.0	52.0	▲49.1	6.2	54.9	38.9	▲32.7	7.1	55.8	37.2	▲30.1
中堅企業	13.1	65.0	21.9	▲8.8	1.6	35.9	62.5	▲60.9	6.2	35.7	58.1	▲51.9	6.3	56.3	37.5	▲31.3	7.7	53.8	38.5	▲30.8

項目	2020年 1～3月				2020年 4～6月				2020年 7～9月				2020年 10～12月				2021年 1～3月 《見通し》				
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	
地域別	神戸地域	12.1	63.7	24.2	▲12.1	2.0	32.9	65.0	▲63.0	1.8	39.0	59.2	▲57.4	3.4	44.4	52.2	▲48.8	4.2	47.1	48.7	▲44.5
	阪神地域	10.1	73.7	16.1	▲6.0	1.6	47.0	51.4	▲49.8	2.5	49.6	47.9	▲45.4	4.7	60.6	34.8	▲30.1	6.5	59.1	34.4	▲28.0
	播磨地域	12.6	65.7	21.7	▲9.1	2.7	40.3	57.0	▲54.3	6.1	43.9	50.0	▲43.9	8.1	55.6	36.3	▲28.2	7.0	57.5	35.5	▲28.5
	但馬・丹波地域	6.7	68.3	25.0	▲18.3	3.2	22.2	74.6	▲71.4	0.0	36.1	63.9	▲63.9	5.9	43.1	51.0	▲45.1	13.7	33.3	52.9	▲39.2
	淡路地域	4.2	80.0	15.8	▲11.6	1.0	31.7	67.3	▲66.3	2.9	37.9	59.2	▲56.3	3.0	53.5	43.6	▲40.6	3.0	58.4	38.6	▲35.6
業種別	製造業	8.6	65.1	26.3	▲17.7	3.3	33.7	63.0	▲59.6	5.1	34.4	60.5	▲55.4	5.8	42.1	52.1	▲46.3	5.5	45.4	49.1	▲43.6
	建設業	17.9	71.3	10.8	7.2	2.0	55.8	42.1	▲40.1	3.5	62.1	34.3	▲30.8	4.5	66.1	29.4	▲24.9	7.7	62.9	29.4	▲21.7
	卸売業	11.2	62.7	26.2	▲15.0	3.0	29.0	68.0	▲65.0	4.2	32.3	63.5	▲59.4	7.5	44.0	48.5	▲41.0	6.0	49.2	44.7	▲38.7
	小売業	10.5	54.7	34.7	▲24.2	2.5	13.6	84.0	▲81.5	6.5	22.1	71.4	▲64.9	11.9	38.8	49.3	▲37.3	9.0	43.3	47.8	▲38.8
	不動産業	6.7	79.9	13.4	▲6.7	0.0	54.7	45.3	▲45.3	0.7	65.6	33.8	▲33.1	0.6	76.8	22.6	▲21.9	1.3	72.7	26.0	▲24.7
	運輸業	16.4	65.8	17.8	▲1.4	0.0	33.3	66.7	▲66.7	1.4	43.5	55.1	▲53.6	8.8	51.5	39.7	▲30.9	11.8	55.9	32.4	▲20.6
	宿泊・飲食業	0.0	75.0	25.0	▲25.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	6.7	93.3	▲93.3	13.0	30.4	56.5	▲43.5	17.4	34.8	47.8	▲30.4
	医療・福祉	10.9	81.8	7.3	3.6	1.9	38.5	59.6	▲57.7	1.9	51.9	46.3	▲44.4	3.9	62.7	33.3	▲29.4	3.9	66.7	29.4	▲25.5
	サービス業	11.0	68.6	20.3	▲9.3	2.0	36.6	61.4	▲59.4	4.9	34.0	61.2	▲56.3	5.6	50.4	44.0	▲38.4	6.4	47.2	46.4	▲40.0
その他	11.1	68.1	20.8	▲9.7	2.0	49.0	49.0	▲47.1	0.0	52.2	47.8	▲47.8	2.0	62.7	35.3	▲33.3	2.0	66.7	31.4	▲29.4	

【各種判断】

DI = 「増加」 - 「減少」、「不足」 - 「過剰」、「楽である」 - 「苦しい」

項目	2020年 1～3月				2020年 4～6月				2020年 7～9月				2020年 10～12月				2021年 1～3月 《見通し》			
	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI
売上高判断	23.0	55.6	21.4	1.6	4.9	40.0	55.1	▲50.2	7.1	41.1	51.8	▲44.8	9.9	46.4	43.7	▲33.8	9.9	51.8	38.3	▲28.4
経常利益判断	21.1	60.4	18.5	2.6	4.8	42.8	52.4	▲47.6	7.1	44.5	48.3	▲41.2	10.6	51.2	38.3	▲27.7	9.6	56.2	34.2	▲24.7
仕入価格判断	19.9	76.1	4.0	15.9	3.1	83.0	13.9	▲10.8	4.6	83.5	11.9	▲7.3	5.0	85.6	9.4	▲4.3	5.0	86.9	8.2	▲3.2
生産判断【製造業のみ】	14.2	65.0	20.8	▲6.7	4.5	49.7	45.9	▲41.4	8.4	40.1	51.5	▲43.1	7.9	51.2	40.8	▲32.9	8.5	56.4	35.1	▲26.6
在庫判断	2.8	92.6	4.7	▲1.9	2.6	90.3	7.1	▲4.6	2.7	91.4	5.9	▲3.3	2.3	92.5	5.2	▲2.9	2.0	93.7	4.3	▲2.3
資金繰り判断	10.7	82.5	6.8	3.9	5.7	79.9	14.4	▲8.7	6.3	83.3	10.4	▲4.1	8.7	83.4	7.9	0.8	8.2	83.4	8.4	▲0.2
雇用判断	24.1	74.3	1.5	22.6	8.4	86.7	4.9	3.6	8.2	87.9	3.9	4.2	10.4	86.4	3.1	7.3	10.7	86.3	2.9	7.8
設備投資判断	11.3	82.1	6.6	4.7	4.2	83.5	12.3	▲8.1	4.1	85.9	9.9	▲5.8	6.0	82.9	11.0	▲5.0	6.1	83.6	10.3	▲4.2